

カトリック河原町教会だより

2015年2月

2月5日は「日本26聖人」の祝日です～都の宣教のはじめ～

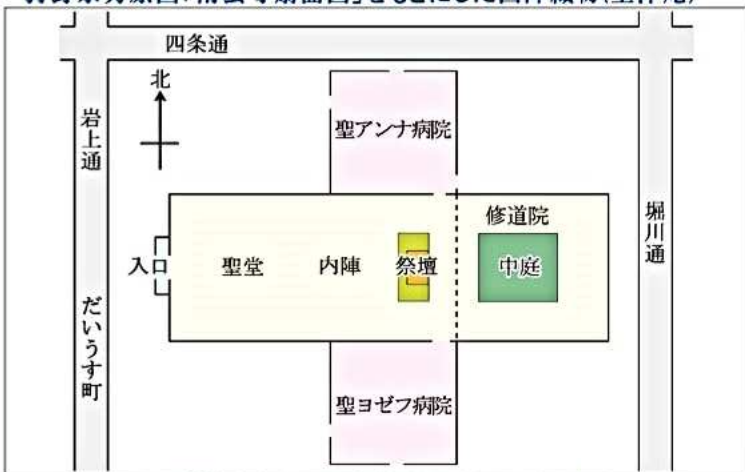


狩野宗秀原画「南蛮寺扇面図」をもとにした西陣織物(望洋庵)

フランシスコ・ザビエルの志を継いで、イエズス会の宣教師ガスパル・ビレラが入浴したのは1559年のことです。宣教が困難な状況下、1564年には宣教師ルイス・フロイスが入浴し、2人の熱心な布教から多くの信徒が生まれました。右近が洗礼を受けたのもこの頃です。さまざまな苦労を経た後、信長の理解のもとイエズス会士オルガンチーノの助けを得て念願の3階建て聖堂(左上写真/都の南蛮寺)が建てられたのは、1576年のことでした。

その後、秀吉は1587年にバテレン追放令を出します。その状況下の1593年に、マニラからペドロ・バプチスタ神父はじめフランシスコ会修道士たちが来日。秀吉から下付された土地(四条堀川)に2階建ての修道院と聖堂を建設し、さらに2つの病院を併設しました(左下図/聖フランシスコ修道院・聖堂・病院の配置想像図)。「だいうす町」と呼ばれたキリシタン集落の誕生です。

しかし、秀吉の禁教弾圧は一挙に強まり、司祭と修道士6名を含むキリシタン24人が捕縛、都の一条戻橋を出発点に引き廻され(さらに2名は長崎への途上で捕縛)、長崎・西坂で26人が殉教を遂げます。1597年2月5日のことでした。



図/『道が京都から』(京都司教区発行)より

見えるようにしてください

2000年前、ユダヤ人の社会では身体の不自由な人々は、生活能力が低く、さげすまれていました。

イエス様は神殿の門の前で2人の盲人に出会われました(マタイ 9・27～31)。「あなたがたの信じているとおりになるように」(9・29)と言われた瞬間、彼らは癒やされます。

フランシスコ教皇は、自分にとって快適な場所から出て行って、福音の光を必要としている隅に追いやられたすべての人々にその光を届けるように、と言われます。なぜ彼らに目を向けねばならないのでしょうか。それは、神が彼らを虐げているのではなく、だれもが、神からその靈魂も肉体も愛され



洛東ブロック担当 花井 拓夫 神父

ている存在なのだというのを伝えるためではないでしょうか。

かつて、京都のキリシタンたちは「ミゼリコルディア慈悲の組」と言う組織を作り、福祉・慈善事業をしていました。彼らは実行的信仰を持っていました。その人たちこそ「元和の時代の52人の都の殉教者たち」(1619年殉教)なのです。

今の教会は、信者のためだけの教会に留まってしまっていないでしょうか。イエス様は、「あなたがたとすべての人のために血を流す」と言われています。イエス様がこの2人の盲人に見えるようにして下さったように、私たちも本当の意味で信仰によって見るようになるよう祈っていきたく思います。

チャリティーコンサート 12月14日・15時

2014年 クリスマス・アルバムから



聖母学院小学校合唱団



チェンバロの演奏



独唱とハーブ演奏

クリスマス市民の集い 12月24日・18時30分

★クリスマス市民の集いは聖堂いっぱいの人であふれ、初めて教会に来られた方々も共に、クリスマスのメッセージに耳を傾けました。その後、聖歌隊と共にキャロルを歌い、主の降誕を祝いました。

この日の募金は「京都新聞歳末ふれあい募金」に送られました。

(計83,656円)



みことばの祭儀 鶴山神父



聖歌隊の合唱

★コンサートでの収益金は、全額「東日本大震災サポートセンター」に送られました。(計339,000円)

- ◆菅原助祭の司祭叙階式に向け準備する。
- ◆復活祭に向けて早めの準備をする。
- ◆救援金について、東日本支援と広島土砂災害への協力は終了し、フィリピン台風支援と国境なき医師団の募金を継続する。
- ◆花井神父から福祉全般を担当する部会の必要案が出され、検討課題とする。
- ◆英語ミサの聖歌隊の練習場所について検討課題とする。

- 行事予定
- 協議事項
- ◆ 行事予定の確認。
- ◆ 役員役割担当と部会責任者の確認。
- ◆ 総会時の役割の決定。
- その他

二十六聖人記念ミサの準備は完了、当日溝部司教による『二十六聖人について』講話を予定。十二月二十七日の特別行事(映画鑑賞とミニ巡礼)の計画立案完了。二月十一日(祝)の「日本二十六聖人記念大巡礼」は十二時三十分堺駅に集合し、巡礼の後、午後三時から堺教会ミサの予定。

⑤ザビエル訪れ会「クリスマス市民の集い」のアンケート(回収一八枚)の整理が完了した。高齢者不参信徒訪問計画は対象者一〇六名の内、六十名の訪問計画を作成中。「継がりの会」との連携を強め、訪問予定者の現状確認等を進めている。

施設管理部①聖堂後方に設置の献金箱に不具合が発生、改修を検討している。②新補聴器貸し出し希望は現在六個で、使用者の感想は良好。

広報部①新しい教会パンフレット五〇〇部の作成を完了。②ウェブサイトをリニューアルに伴う反応は良好。

主の降誕夜半ミサ 12月24日 21:00



主の降誕ミサ 12月25日 10:30 大塚司教

河原町教会 聖堂正面
ステンドグラスの物語

聖堂内のステンドグラスは、スイス人、ハンス・シュトッカー氏の制作によるもので、1968年11月24日に除幕式が行われました。

聖堂右側のステンドグラスは、フランシスコ・ザビエルや十字架の道行などが分かりやすく描かれ、わたしたちの祈りの助けとなっています。

一方、聖堂に入ると真正面に目にするステンドグラスは、上のほうにある小羊と十字架は分かりませんが、そのほかは何が描かれているのだろうかと思われる方も多いのではないのでしょうか。

この三角形のステンドグラスは下から、創造界・瞑想界・天上界の3段階からなっていると言われています。

最下段の創造界は万物が生まれてくるところを表していて、魚が数匹泳いでいるのが分かります。魚は、「イエス・キリスト・神の子・救い主」というギリシャ語の頭文字を連ねて「イクトウス」（魚の意味）となることから、初代教会の信者たちが迫害の中、キリスト者の暗号としていた“しるし”でした。真ん中は瞑想界で、さまざまな色調のグラスがちりばめられています。その上の天上界には、「神の小羊」が白く、くっきりと浮かび上がっています。さらに上のほうは色調が暗くなり、無限のかなた、神の神秘の世界へ溶け込まれていくように見えます。

シュトッカー氏は、暑い夏に10日間ほど聖堂の真ん中で黙想し、この抽象的技法による表現に至ったと伝えられています。それからほぼ1年後にこのステンドグラスが完成。その際彼は「このステンドグラスは黙想のよい材料になるでしょう」と言い、笑顔で去って行かれたそうです。



河原町教会一月評議会報告要約

開催日 二〇一五年一月四日(日)

■司祭団の報告

フランシスコ教皇、大塚司教共に言われているように、居心地のよい所に留まるのではなく、そこから出て行き、あらゆる活動を通して、福音の光を必要としている人々にそれを届けることができるよう協力して歩みましょう。

■部会報告

典礼部①「クリスマス市民の集い」の侍者の集合時間を来年度から十五分早める。②十時半元日ミサにおける聖堂整理担当者を増やす必要がある。③主日十時半ミサ前の「ゆるしの秘跡」について、ミサ開始時間を考慮した整理を心がけたい。④クリスマス行事等、参加者が多数となる時、座席十一人がけを徹底させる必要がある。⑤一月十一日(日)十時半ミサ終了後に侍者・献金奉仕の子供たちの新年会を予定。
財務部①二〇一四年会計報告・二〇一五年予算案が承認された。②維持費滞納者、未納者(六十五歳以下)に協力依頼文書を送付した。継続して名簿の整理を行う。
教育部①土曜学校十二月十三日クリスマス会は無事終了。参加者は小学生二十七名、中学生六名、幼児三名、保護者一十四名、リーダー十名の計七十名。一月十日に始業ミサを都の聖母小聖堂で行う。②中高生会十二月二十四日クリスマスパーティーの参加者は十数名。③エリの集い、一月十一日の侍者・献金奉仕者新年会の手伝いをする。初聖体衣装の製作を行う。④キリシタン研究会二〇一四年秋期号「証灯」発行、各所に配布した。二月一日の「日本

◆ 2015年2月・3月の行事予定 ◆
(3月は予定です。変更の場合があります)

行 事 予 定		
2月	1 日	評議会2月例会 10:30 ミサ後 26 聖人殉教記念ミサ (西陣教会) 14:00
	3 火	高山右近殉教400年記念ミサ (神戸文化ホール) 13:30
	11 水	花井神父 司祭金祝ミサ 11:00
	18 水	《灰の水曜日》四旬節第1日〈大斎・小斎〉
	21 土	洛東ブロック四旬節黙想会 (山科教会) 10:00 ~ 16:00
3月	1 日	評議会3月例会 10:30 ミサ後
	7 土	菅原友明助祭 司祭叙階式 14:00
	15 日	大塚乾隆神学生 祭壇奉仕者選任式 10:30 司教ミサ 村上眞理雄神父霊名〈ヨゼフ マリア 3/19 祭日〉のお祝い 7:00 ミサ
	22 日	教会美化デー
	29 日	《受難の主日(枝の主日)》 評議会4月例会 10:30 ミサ後
	30 月	~ 4/1(水) 教区小学生侍者合宿

花井拓夫神父 司祭金祝ミサのご案内

花井神父は、1965年3月28日に三重県桑名教会において司祭叙階され、今年50周年の金祝を迎えられます。

以下の通り感謝の金祝ミサが行われますので、どうぞご出席ください。

日時：2015年2月11日(水・祝日) 11:00~

場所：河原町教会聖堂

★ ミサ後、ヴィリオンホールで祝賀会が開催されます。

◆ 2015年度の各部会責任者は以下の通りです。

部会	部長	副部長
典礼部	岡田 亨	杉本 誠一郎
教育部	奥埜 さと子	中野 博彦
財務部	倉狩 弘美	梅原 けい子
		岩田 啓子
施設管理部	栗山 准	松谷 博幸
広報部	樋口 リサ	岩間 恵世

◇「教会だより」郵送についてのご案内

毎月発行の「カトリック河原町教会だより」をご自宅まで郵送希望される方は(友人・知人への郵送希望の場合も)、遠慮なく教会事務室までお知らせください。広報部から毎月お送りいたします。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井 拓夫神父 (1F)

19:15 一場 修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上 眞理雄神父 (1F)

19:00 花井 拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井 拓夫神父 (3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父 (1F)

※鶴山 進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

2月19日(木) 14:00

3月19日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

◆ 旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導 鶴山 進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

◆ 参加ご希望の方は、事務室までお申し込みください。

レクチオ・ディヴィナの前、10時からミサが行われています。どなたでもご参加ください。